

## 美術品補償制度部会における審議状況と今後の主な課題

### 1. これまでの審議状況

#### (1) 第15期美術品補償制度部会における答申状況について

美術品補償制度部会は、展覧会における美術品損害の補償に関する法律（平成23年法律第17号。以下「美術品補償法」という。）第12条第2項の規定により審議会の権限に属せられた事項として、展覧会のために借り受けた美術品の損害を政府が補償する契約（以下「補償契約」という。）を展覧会の主催者と締結することについての適否を審議している。

今期は申請のあった展覧会5件（下表参照）について、補償契約を締結することが適当である旨の答申を行った。

No.	展覧会名	主催者名	開催施設(開催期間)
1	ゴッホ展 家族がつないだ画家の夢	東京都美術館 大阪市立美術館 愛知県立美術館 株式会社中日新聞社 日本放送協会 NHKプロモーション NHK エンタープライズ	大阪市立美術館 (令和7年7月5日～令和7年8月31日) 東京都美術館 (令和7年9月12日～令和7年12月21日) 愛知県美術館 (令和8年1月3日～令和8年3月23日)
2	大ゴッホ展 夜のカフェテラス	<神戸>神戸市立博物館、神戸新聞社、産経新聞社、関西テレビ放送、博報堂 <福島>大ゴッホ展実行委員会(福島県、福島県教育委員会、福島県立美術館 他) <上野>上野の森美術館、産経新聞社、TBS、TBS グロウディア、博報堂	神戸市立博物館 (令和7年9月20日～令和8年2月1日) 福島県立美術館 (令和8年2月21日～令和8年5月10日) 上野の森美術館 (令和8年5月29日～令和8年8月12日)
3	オルセー美術館所蔵 印象派一室内をめぐる物語	国立西洋美術館 ヴァレリー＝エジスカール＝デスタンオルセー美術館・オランジュール美術館 読売新聞	国立西洋美術館 (令和7年10月25日～令和8年2月15日)

4	クロード・モネ ー風景への問いかけ展	アーティゾン美術館 オルセー美術館 日本経済新聞社 NHK	アーティゾン美術館 (令和8年2月7日～令和8年5月24日)
5	ゴッホの跳ね橋と印象派の画家たち ヴァルラフ＝リヒャルト美術館所蔵	宇都宮美術館 あべのハルカス美術館 名古屋市美術館 株式会社クオラス	宇都宮美術館 (令和8年4月19日～令和8年6月21日) あべのハルカス美術館 (令和8年7月4日～令和8年9月9日) 名古屋市美術館 (令和8年9月19日～令和8年11月29日)

## (2) 近年の傾向について

原油価格の高騰によって輸送コストが上がり、海外からの輸入展示の見送りや縮小をする美術館もあり、申請数は低調傾向にある。

## 2. 今後の課題

本法律の運用状況、社会経済情勢の変化等を勘案し、国民が美術品を鑑賞する機会の一層の拡大を図る観点から、引き続き補償契約の締結の適否に関する個別審議を行うとともに、審査に当たって改善が必要と考えられる事項について引き続き検討を行う。